



環境かわら版

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/0000007029.html>

平成30年6月号（第265号）



6月は環境月間です！

わが国では6月を環境月間とし、環境問題の重要性を認識するとともに、将来に向かって、よりよい環境を創出するための努力と決意を新たにすることがあります。



あいち低炭素水素サプライチェーンがスタート（P2）



AEL ネット環境学習スタンプラリーを開催（P4）



佐久島中学校が「みどりの日」自然環境功労者
環境大臣表彰を受賞（P5）



「もりの学舎キッズクラブ」メンバーが
優秀賞を受賞（P6）



エコアクションを
はじめよう！つづけよう！つなげよう！

<http://aichi-eco.com>



あいち低炭素水素サプライチェーンがスタートしました

水素は、利用段階で二酸化炭素を排出しないクリーンなエネルギーとして期待されていますが、現在流通している水素のほとんどは化石燃料から製造されており、この段階で二酸化炭素が排出されています。

そこで、愛知県では平成 28 年度から、産・学・行政の協働で未利用エネルギーや再生可能エネルギーを活用して、二酸化炭素を排出しない方法により水素（低炭素水素）を製造し、供給する「あいち低炭素水素サプライチェーン」の構築・事業化に向けて検討を進めてきました。

その結果、本年 4 月 25 日に、県、知多市、豊田市及び中部電力(株)、東邦ガス(株)、トヨタ自動車(株)、(株)豊田自動織機の協働による「知多市・豊田市 再エネ利用低炭素水素プロジェクト」を開始しました。

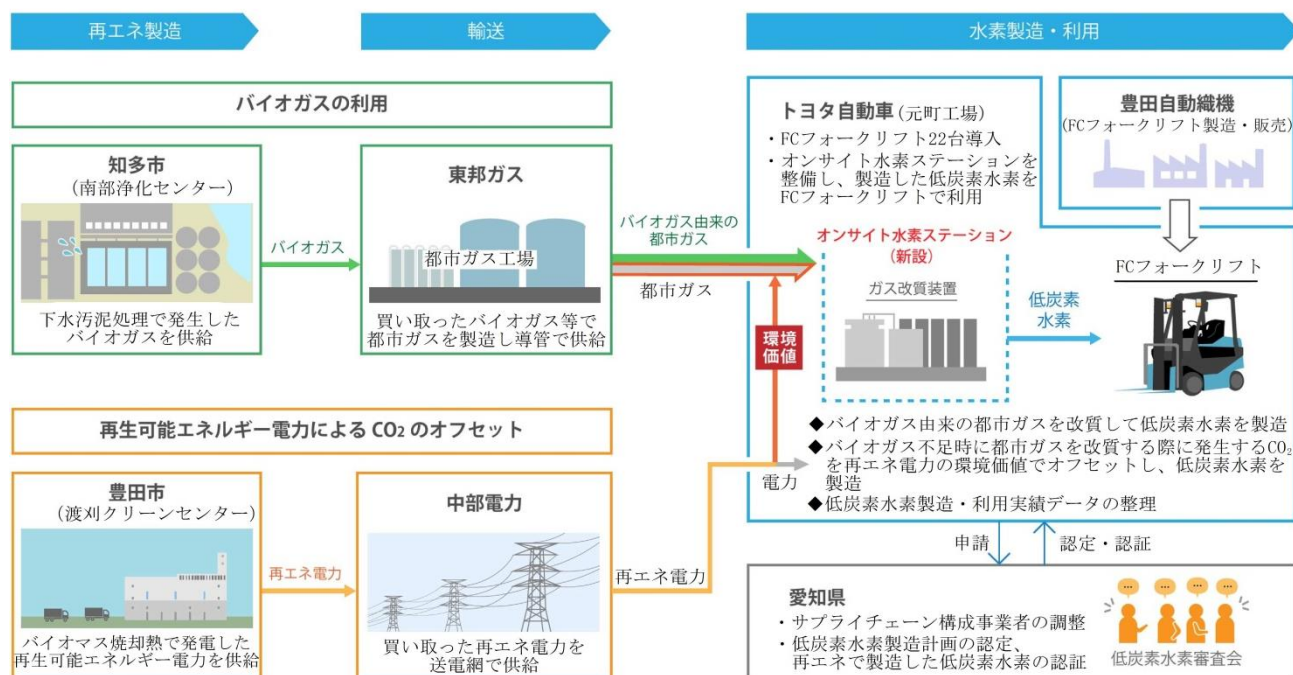
本プロジェクトでは、東邦ガス(株)が知多市南部浄化センターで下水汚泥処理により発生したバイオガスを原料として都市ガスを製造し、既存の都市ガ

ス導管網を通じてトヨタ自動車(株)の元町工場へ輸送します。このバイオガス由来の都市ガスを原料に、トヨタ自動車(株)の元町工場に設置したガス改質装置で低炭素水素を製造、圧縮、貯蔵し、工場内で使用する(株)豊田自動織機製の燃料電池フォークリフトで利用します。

さらに、豊田市渡刈クリーンセンターの廃棄物焼却により発生した熱で発電した再エネ電力を中部電力(株)がトヨタ自動車(株)に供給することで、バイオガス不足時に使用した都市ガス使用分の CO₂ 排出量をオフセットします。

また、県では、低炭素水素サプライチェーンの構築に取り組む事業者を支援するため、4 月 17 日に水素の製造、輸送、利用に伴う二酸化炭素の排出が少ない水素を「低炭素水素」として認証・情報発信する「低炭素水素認証制度」を全国で初めて制定し、4 月 25 日に「知多市・豊田市 再エネ利用低炭素水素プロジェクト」を第 1 号として認定しました。

知多市・豊田市 再エネ利用低炭素水素プロジェクト 概要



地球温暖化対策課 調整・企画グループ
電話 052-954-6213 (ダイヤルイン)

「あいちeco ティーチャー養成校」の受講生を募集します！

愛知県では、今年度新たに中高年（45歳以上）の方を対象とした、「あいちeco ティーチャー養成校」を開校します。受講生の皆さんは、オリジナル講座を作成し、その講座を小学生に実施するとともに、世代間交流ミーティングに参加します。受講料は無料で、定員は30名です。是非お申し込みください。

なお、修了者には次年度以降「あいちeco ティーチャー」として環境学習講座を実施していただく予定です。

1 募集期間

6月29日（金）まで【必着】

2 応募方法

必要事項をご記入の上、郵送、FAX またはEメールでお申し込みください。申込先の詳細及び必要事項はWeb ページをご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/ecoteacher30.html>)

3 スケジュール

○オリジナル講座作成

7/28(土)	学校現場での環境学習の講師を目指す方へ 昔の川を思い出し、今の川を知ろう！
8/4(土)	「気づきから行動へ」をコンセプトにした環境プログラム オリジナル講座のテーマを決めよう！
8/25(土)	授業づくりのプロになろう！
9/29(土)	子どもを引き付けるプロになろう！
10/27(土)	講座を完成させて、発表しあおう！

○冬休み環境学習講座

12月下旬	主に小学生への講座実施
-------	-------------

○世代間交流ミーティング

3/2(土)	県内の高校生達との交流
--------	-------------

〔環境活動推進課 環境学習グループ
電話 052-954-6208（ダイヤルイン）〕

「ものづくり博2018 in 東三河」の愛知県ブースに 優れた環境技術を有する企業が出展します

愛知県内の優れた環境技術を有する企業を広く紹介し、商談や宣伝の機会を提供するため、「ものづくり博2018 in 東三河」に愛知県ブースを設けます。

公募で選定した10社が出展し、各社の優れた環境技術や3R製品の普及を図るとともに、愛知県の循環ビジネスの支援施策も紹介します。

入場は無料ですので、是非お越しください。

【ものづくり博2018 in 東三河】

- 会 期 6月15日（金）～6月16日（土）
- 開場時間 10:00～17:00
- 会 場 豊橋市総合体育館
(豊橋市神野新田町字メノ割1の3)
- 主 催 東三河広域経済連合会（東三河地域の3商工会議所と11商工会でつくる経済連合会）
- そ の 他 会期中、豊橋駅東口から会場までの無料シャトルバスが運行されます。

○愛知県ブースに出展する企業

10社（五十音順）
(株)イトコー (穂の国の森から始まる家づくりの会)
(株) I N U I
(株) S R サービス (砂職人の店)
大森木材(株)
(有)環境テクシス
(株)環健スーパーテクノ
三商(株)
(株) J - S T Y L E
中日精工(株)
プールス(株)

〔資源循環推進課 循環グループ
電話 052-954-6233（ダイヤルイン）〕

あえる 「AEL ネット環境学習スタンプラリー」を開催します

AEL ネットは、県内の民間や市町村の環境学習施設等が加盟している愛知県環境学習施設等連絡協議会【Aichi Environmental Learning Network】の愛称です。

この度、より多くの県民の皆さんに楽しく環境学習を行っていただくため、AEL ネットに加盟する172施設等において、「AEL ネット環境学習スタンプラリー」を開催します。

対象施設への来館、講座・イベントへの参加によりスタンプを集めて応募いただくと、スタンプの数に応じて、抽選で記念品をプレゼントします。

1 開催期間

平成30年6月22日(金)～平成31年2月28日(木)

2 対象施設、講座・イベント等

ECOをテーマとした講座や観察会のほか、楽しい工作などを実施する施設等もあります。施設や講座・イベントによっては、予約が必要なものや有料のものもあります。



詳細はWeb ページをご覧ください。

(http://aichi-eco.com/ael_stamprally/)



AEL ネット環境学習スタンプラリー対象講座の様子

3 記念品

★ A賞～C賞：いずれも図書カード

A賞:5,000円分【スタンプ9個】…抽選で5名様

B賞:3,000円分【スタンプ6個】…抽選で20名様

C賞:1,000円分【スタンプ3個】…抽選で100名様

★ Wチャンス賞：惜しくもA賞～C賞に当たらなかった方の中から、抽選で350名様に「スタンプラリー参加施設のオリジナルグッズセット」をプレゼントします。

★ 参加賞

スタンプを3個以上集めて応募いただくと、参加賞として先着500名様にエコグッズをプレゼントします。



4 応募方法、締切り等

スタンプ帳（スタンプラリー対象施設で配布）についている応募はがきにスタンプを集め、住所・氏名など必要事項を記入の上、平成31年3月7日(木)【必着】までにAEL ネットスタンプラリー事務局（あいち環境学習プラザ）へ郵送してください。

当選者の発表は、厳正なる抽選の上、記念品の発送をもって代えさせていただきます。



スタンプ帳

環境活動推進課 環境学習グループ
あいち環境学習プラザ
電話 052-972-9011（ダイヤルイン）

中小事業所向けの 無料 省エネ相談を実施しています

愛知県では、名古屋市と共同で、温暖化対策や省エネ対策に取り組む機会や資金、ノウハウが少ない中小事業所を対象に、専門家による無料の省エネ相談を実施しています。

相談者の経営状況等に応じて、無理なく取り組める設備の運用改善のアドバイスから、省エネ設備の導入などの一歩踏み込んだ支援まで、総合的な支援を行っています。

1 省エネ相談の特徴

① 電話、窓口、訪問による総合的な相談体制

常設の電話相談窓口を設置するとともに、サテライト窓口として市町村役場や商工会議所、信用金庫などにも臨時の相談コーナーを設け、相談者が気軽に相談できる体制を整えています。

② 要望に応じた相談対応

設備の運用改善などの経費を要しない省エネから、高効率な機器や設備の導入・転換まで、相

談内容に応じたアドバイスをを行います。また、省エネ補助金制度の紹介と制度利用に当たってのアドバイスも行います。

③ 相談後のフォローアップ

取組実施による省エネ効果の把握や更なるアドバイスの実施により、相談者の自立的な省エネ活動を後押しします。

2 受付日時

月～金曜日（祝日、年末年始を除く）

9:00～17:00（12:00～13:00 を除く）

3 受付・問合せ先

（一財）省エネルギーセンター東海支部

電話：052-232-2216

（地球温暖化対策課 温暖化対策グループ）
電話 052-954-6242（ダイヤルイン）

佐久島中学校が平成 30 年度「みどりの日」自然環境功労者 環境大臣表彰を受賞しました

環境省では、自然環境の保全に関する顕著な功績に対して、これをたたえとともに、自然環境の保全について国民の認識を深めることを目的として、毎年「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰を行っています。

この度、平成 30 年度「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰の「保全活動部門」において、愛知県が推薦した西尾市立佐久島中学校が、継続的な自然環境の保全及び普及啓発への尽力を認められ、表彰されました。

佐久島中学校では、「佐久島の海をもっと豊かにしたい」という生徒の思いから、多くの水生生物の生活を支え、海水の浄化にも大きな役割を果たしている藻場に注目し、平成 12 年度から海草の一種であるアマモを守り、藻場を再生する活動を始めました。

この活動は島民と協力することで拡大し、現在では島外からもボランティア参加者があるなど、佐久島の里海の再生にとって重要な活動となっています。



4 月 16 日に環境省で行われた表彰式の様子

（自然環境課 調整・施設・自然公園グループ）
電話 052-954-6227（ダイヤルイン）

愛知県のこどもエコクラブのメンバーが 「こどもエコクラブ全国フェスティバル2018」で発表しました

こどもエコクラブ全国事務局(公益財団法人 日本環境協会)が主催した「全国エコ活コンクール 壁新聞及び絵日記募集」の「絵日記部門」で、「もりの学舎キッズクラブ」のハンブレ沙弥さんが優秀賞を受賞しました。

3月25日(日)に日本科学未来館(東京都)で開催された「こどもエコクラブ全国フェスティバル2018」で表彰式が行われ、ハンブレ沙弥さんが絵日記の発表を行いました。

また、「壁新聞部門」では、半田こどもエコクラブが愛知県の代表として、このフェスティバルに参加し発表を行いました。

※こどもエコクラブは、幼児(3歳)から高校生までなら誰でも参加できる環境活動のクラブです。

愛知県では、昨年度末時点で「もりの学舎キッズクラブ」を含む127のクラブが参加しています。



ちびりこなた むしごし
りたしはむしごしにたててでもダンゴムシだけかいていからすきでまわることできます。
はじめてのキッズクラブで森の中へむしごしをさがしました。森に入るときは小さいクラブをさがしていきました。ダンゴムシをさがしていきました。石がたのてつらぐえしてみるとダンゴムシはいはいはにムクデガにうにうとでまきました。はじめてこんなうぐくで見たからすき。いりりしました。ちやうみやはねるむしをさがまていすもいしました。木の中やううなむしをさがしてむしごしをさがしました。もよなれたむしごしをさがすうにならなはハンブレとや

優秀賞を受賞した絵日記

環境活動推進課 環境学習グループ
電話 052-954-6208 (ダイヤルイン)

「あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業」の 交付団体が決まりました

愛知県では、平成21年度から「あいち森と緑づくり税」を活用して、NPO・ボランティア団体や市町村などが行う自発的な森と緑の保全活動や環境学習事業に対し、「あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業交付金」による支援を行っています。

平成30年度の交付金事業は、平成30年2月14日から3月14日まで募集を行い、108団体から112事業の企画提案がありました。この中から、植樹や間伐といった森づくり、水と緑の恵みを体感し学習する活動、緑のカーテンづくりなど、104団体、106事業が交付対象に決まりました。

今年度の交付対象分を含め、これまでの10年間で延べ937事業が交付対象となり、県内全域にわたり、多くの県民の皆さんが、里山での環境学習活動などの様々な活動に参加されています。

なお、今年度の実施団体・事業の概要はWebページをご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/>

soshiki/kankyokatsudo/h30morikoufu.html)



里山での環境学習活動



緑のカーテン

環境活動推進課 調整・環境配慮行動グループ
電話 052-954-6241 (ダイヤルイン)

「あいち森と緑づくり生態系ネットワーク形成事業」の 交付団体を決定しました

愛知県では、生きものの生息生育空間をつなぐ「生態系ネットワーク」※の形成を促進するため、「あいち森と緑づくり税」を活用して、県民、事業者、NPO、行政等の地域の様々な立場の人々が協働して行うビオトープ創出事業等を支援しています。

この度、平成 30 年度の交付対象者として 5 団体を決定しました。

当交付金を活用して、企業調整池を活用したビオトープの整備、スギ・ヒノキの皆伐跡地における広葉樹植栽などの事業が県内の 5 地域（尾張西部、新城設楽、知多半島、東部丘陵、西三河）で実施されます。

※生態系ネットワーク

開発などで分断・孤立した、生きものの生息生育空間を緑地や水辺などでつないで、地域本来の自然環境を保全・再生するもの

団体名	事業の名称
尾張西部生態系ネットワーク協議会	企業調整池を活用した市民参加型生態系ネットワーク形成事業
新城設楽生態系ネットワーク協議会	健全な森林生態系の保全・創出事業
知多半島生態系ネットワーク協議会	知多半島における生態系ネットワークの形成
東部丘陵生態系ネットワーク協議会	工場調整池を活用した生態系ネットワーク形成の取組
西三河生態系ネットワーク協議会	ソニーの森から広がる西三河在来種の森づくり

採択事業の概要などの詳細は Web ページをご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/shizen/2018network.html>)

〔 自然環境課 国際連携・生態系グループ
電話 052-954-6229 (ダイヤルイン) 〕



連載

サスティナ研ニュース ⑩ ～今年度の活動が始まります～

愛知県では、未来の地域の担い手となる大学生がグローバルな視点を持って継続的にエコアクションを実施することができるよう、平成 27 年度から大学生を対象とした「人づくり」プログラム「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」を実施しています。

第 4 期目となる今年度は、多くの応募者の中から選考された研究員 40 名が、10 のパートナー企業・団体から与えられた研究課題に対し、解決策を提案します。

6 月 17 日(日)には、愛知県庁本庁舎正庁において、研究所所長の大村知事を始め、研究員、パートナー企業・団体等関係者が一堂に会する開所式を開催し、第 4 期目の研究所活動が本格的にスタートします。今後も紙面上で研究所活動を紹介していきます。また、詳細は研究所 Web ページをご覧ください。

(<http://sustaina-ken.net/>)

パートナー企業・団体	研究課題
イケア・ジャパン(株) IKEA 長久手	サステナビリティに対する意識を高めるお客様参加型イベントを検討
(株)伊藤園	「お茶で愛知を美しく。」環境活動を広げる方策を検討
花王(株)	SDGs 達成に貢献する未来の「お洗濯」を提案
J A グループ愛知	若者が農業の環境保全機能を実感し農業応援団となる PR 方策を検討
新日鐵住金(株)名古屋製鐵所	LCA の視点による鉄の環境へのやさしさについて広く普及する方策を検討
スターバックス コーヒー ジャパン (株)	私たちの社会貢献活動に共感し行動できる仲間を増やす企画を検討
積水ハウス(株)	100 年後を見据えた「環境配慮型住宅」を検討
(株)デンソー	“smart move”を実践し、社会に普及させる方法を検討
トヨタ車体(株)	トヨタ車体ふれ愛パークを拠点とした新たな環境イベントを検討
中日本高速道路(株)	NEXCO 中日本の環境取組の PR 方法を検討

〔 環境政策課 企画・広報グループ
電話 052-954-6210 (ダイヤルイン) 〕

三河湾環境再生プロジェクトを実施します！

愛知県では、平成 24 年度から「三河湾環境再生プロジェクト」を実施しており、今年度も、このプロジェクトを推進するための各種取組を「三河湾環境再生パートナーシップ・クラブ」と連携・協働しながら実施します。

三河湾を身近に感じていただける様々なイベントを開催しますので、皆さん是非ご参加ください。

1 三河湾大感謝祭の開催

多くの人々に「きれいで、豊かな、楽しめる『三河湾』」に関心を持っていただき、三河湾の環境再生に向けた機運を高めるため、10 月に蒲郡市内で「第 5 回三河湾大感謝祭」を開催します。

2 集客施設等における PR 活動

三河湾での環境再生の取組や三河湾の生きものを知っていただくため、県内のショッピングセンター等で、三河湾の生きものに触れるタッチプールや生きものの展示など、親子が楽しめる PR 活動を 4 回開催します。



三河湾の生きものにタッチできます

3 三河湾環境学習会の開催

県立三谷水産高校の実習船「愛知丸」に乗船して、水質調査の体験等を行う「三河湾環境学習会」を、7 月に蒲郡市内で開催します。



船に乗って貴重な体験ができます

4 三河湾環境再生体験会の開催

干潟の生きもの観察に加え、砂の流出防止など干潟の保全体験をしてもらうため、8 月に西尾市内で「三河湾環境再生体験会」を開催します。

5 NPO 等の活動支援

三河湾の沿岸や流域における水質浄化の取組を推進するため、「あいち森と緑づくり税」を活用し、「三河湾環境再生パートナーシップ・クラブ」会員の下記 5 団体が実施する環境活動を支援します。

- ・NPO 法人愛知環境カウンセラー協会
- ・「あいちの海」グリーンマップ
- ・島を美しくつくる会
- ・地域環境活性化協議会
- ・半田こどもエコクラブ

水大気環境課生活環境地盤対策室 三河湾環境再生グループ
電話 052-954-6220 (ダイヤルイン)

愛知県環境情報紙「環境かわら版」
平成 30 年 6 月 4 日発行 (第 265 号)
編集・発行 愛知県環境調査センター
企画情報部
〒462-0032 名古屋市北区辻町字流 7-6
電話 052-910-5489 (ダイヤルイン)

編集後記

6 月は環境月間です。「電気のスイッチをこまめに切ること」や「必要以上に食品を買いこまないこと」、「省エネ性能の高い照明や家電製品を積極的に選ぶこと」など、環境のためにできることは身近にたくさんあります。
この機会にぜひ一度、職場や家庭で自分たちができることについて考えてみてください。

(企画・編集チーム)

※ この環境かわら版は、環境部 Web ページ「あいちの環境」<http://www.pref.aichi.jp/kankyo/>でも発信しており、写真等をカラーでご覧いただけます。この記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いします。